

第14回 CUD勉強会「川端氏講演を深掘りする」
(講師：川端裕人氏) アンケート集計報告

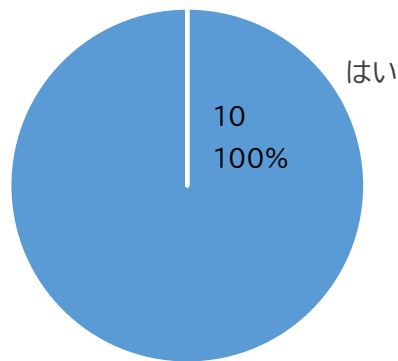
実施日：2021年09月25日(土) 14:00~16:00 (オンライン開催)

主催：NPO人にやさしい色づかいをすすめる会

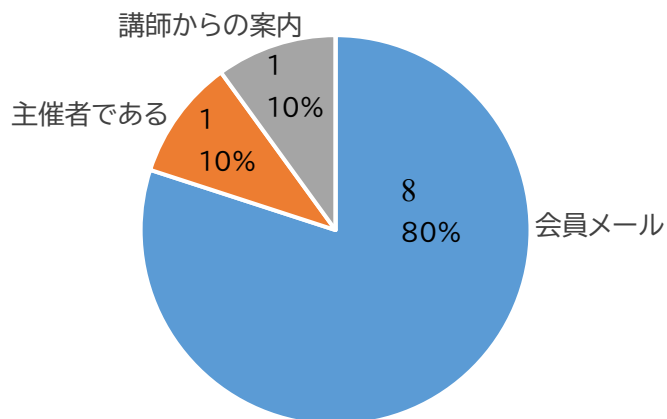
参加人数:13人、アンケート回収:10人(回答率 77%)

※ 2021/10/09 集計報告作成

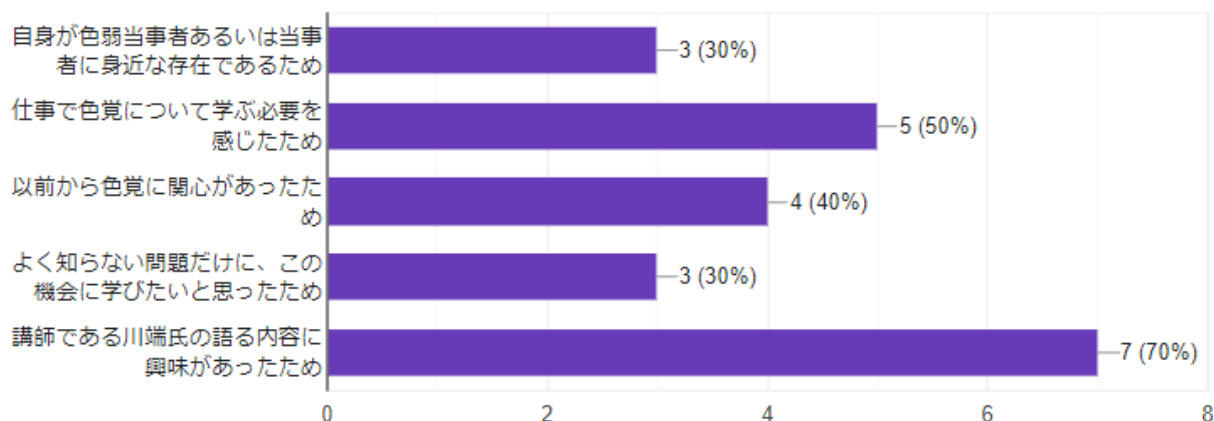
Q1:当会の過去のCUD勉強会に参加したことがありますか？ オンライン形式・集会形式を問いません。



Q2:この勉強会を何によって知りましたか？ あてはまるものが複数ある場合は、参加に直接結びついたものをひとつ選んでチェックしてください。



Q3:勉強会に参加された動機は何ですか？ あてはまるものすべてにチェックしてください(複数選択可)。



Q4:勉強会の運営はいかがでしたか？ 以下の項目ごとに、それぞれあてはまるものをひとつ選んでチェックしてください。

Q4 では、勉強会の運営に関し、ZOOM での開催形式、参加申し込み後のご案内、時間設定の 3 項目について回答いただきました。

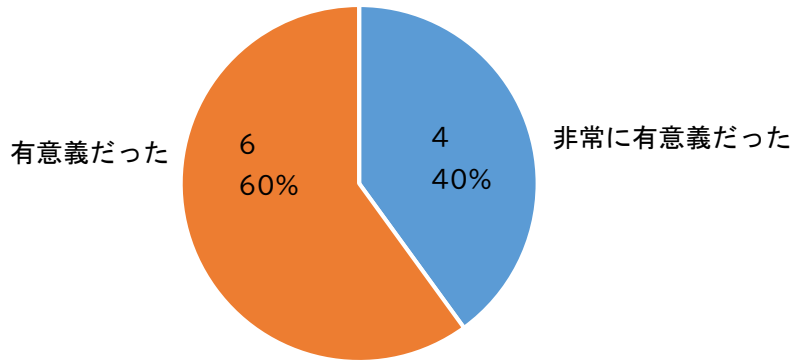
しかし、当方のミスで回答結果が消えてしまい、集計することが出来ませんでした。

大変申し訳ございません。

Q5:Q4 のいずれかの項目で「やや不満」または「おおいに不満」と回答された方にお尋ねします。どのように評価されたのはなぜですか？

この質問には回答がありませんでした。

Q6:勉強会はどのくらい有意義だと感じましたか？ あてはまるものをひとつ選んでチェックしてください。



Q7:勉強会についてどのように感じましたか。ぜひ感想をお聞かせください。

8 件の回答

- ◎色々な話が聞けて良かったです。
- ◎色覚の検査方法の将来性や展望など、あまり色弱に関しては、進展していない印象がありましたが、今回の勉強会で知ることができました。ただ、一部、私の勉強不足で、専門用語が理解できなかったことで、勉強内容を理解できなかったことを反省する次第です。
- ◎当事者の方々の意見やも思いなどが知れるので、毎回有意義です。
- ◎今回の講演内容の中の「色覚をめぐる医療と支援」に関する提言で、眼科医による診断以降の「カウンセリング」や「支援」の分野は、医療関係者だけではなく我々のような団体にも担わせる必要があるという観点到非常に共感できた。
- ◎とてもよい勉強会ですね。準備もしっかりされていて、見習いたいと思いました。
- ◎現在の色覚検査の動向を伺うことができてよかった。
- ◎色覚の多様性も、カウンセリングや支援は、本来福祉側の領分、この構図で考えてみるのは初めてでしたが、体制づくりは必要に感じました。
- ◎川端氏のレクチャーを2回連続で受けられるという、ひじょうに贅沢な勉強会でした。質問に対して驚くほど丁寧に回答いただき、知識が深まると同時に、あとから自分で調べてみたいことも多々出てきました。スライドには情報ソースがすべて示されているので、ここから自分でもリサーチしていきます。その意味でも大収穫でした。
「色覚問題をめぐる支援と医療」の話題からも多くの気づきが得られました。これからは検査、カウンセリング、支援を当事者／アライ団体が担う？という考え、とてもいいです。

Q8:主催者または講師に対するご質問、ご意見、ご要望等がございましたらご記入ください。

6 件の回答

◎お疲れさまでした。

◎特にございません。

いつもありがとうございます。

◎日本各地に点在する CUD 関連組織がネットワークを組む必要性を強く感じた。

◎川端さんの調査研究が素晴らしい！そして現在進行形であることも嬉しいです。必ず札幌にお呼び
します。お待ちしております。

◎CUDO、北海道 CUDO の合同参加、意義のある勉強会になりました。

川端さまのおかげです。ありがとうございました。

◎当会へのご協力を深く感謝いたします。ありがとうございました。

以上